

証券コード：9768



2024年12月期 決算説明会



2025年2月28日

<https://www.ideacon.co.jp/>

< 目次 >

1. 当社グループの紹介
2. 2024年12月期決算のポイント
3. 2025年12月期の計画
4. 第6次中期経営計画について

< 1.当社グループの紹介 >

1-1. 当社及び当社グループの概要

1-2. 事業概要

1-3. 当社のポジショニング

1-4. 主要顧客の概要

1-5. 受注形態別受注高(単体)の推移

1-6. いでの強み

1-1. 当社及び当社グループの概要

| | |
|--------|--|
| 本社 | 東京都世田谷区駒沢 |
| 創立/設立 | 1953年(昭和28年)5月 / 1968年(昭和43年)9月 |
| 資本金 | 31億7,323万円 |
| 事業概要 | 社会基盤整備と環境保全の総合コンサルタント |
| 連結社員数 | 1,098名(2024年12月現在) |
| 平均年齢 | 44.5歳 |
| グループ会社 | 連結子会社 : 新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)、 (株)Ides、(株)クリアテック、以天安(北京)科技有限公司 非連結子会社 : イーアイエス・ジャパン(株) 関連会社 : 次世代海洋調査(株) UAE-IDEA Advance Analytical Company Limited (UIA)、 中持依迪亜(北京)環境検測分析株式会社(持分法適用) |

コーポレートスローガン

人と地球の未来のために
For Our Bright Future

経営ビジョン

安全・安心で快適な社会の持続的発展と
健全で恵み豊かな環境の保全と継承を
支えることを通じて社会に貢献する

1-2. 事業概要

環境コンサルタント事業



- 環境調査
- 環境化学分析
- 環境評価・環境計画
- 自然環境の保全・再生・創造

建設コンサルタント事業



- 河川の整備・保全
- 海岸の整備・保全
- 道路・橋梁の計画・設計・保全
- 交通計画、都市・地域計画
- 港湾・漁港の整備・保全

情報システム事業



- 防災・減災システム開発
- システム開発・運用支援
- 気象・健康情報の提供・配信

海外事業



- インフラマネジメント
- 環境保全・創出

1-3.当社のポジショニング

- ◆ 建設コンサルタント会社中の売上高順位は10位
- ◆ 「建設環境分野」の売上高順位は**1位**をキープ

(単位：億円)

| 順位 | 建設コンサルタント部門全体 | 順位 | 建設環境分野 | 河川、砂防及び 海岸・海洋分野 | 港湾及び空港 分野 |
|----|-----------------------------|----|-----------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1 | 日本工営 (638) | 1 | いであ(115) | 建設技術研究所 (221) | パシフィックコンサルタンツ (51) |
| 2 | 建設技術研究所 (540) | 2 | 建設環境研究所 (51) | 日本工営 (137) | 日本工営 (50) |
| 3 | パシフィックコンサルタンツ (512) | 3 | 日本工営 (41) | 八千代エンジニアリング (75) | 日本港湾コンサルタント (29) |
| 4 | オリエンタルコンサルタンツ (308) | 4 | パシフィックコンサルタンツ (35) | パシフィックコンサルタンツ (75) | オリエンタルコンサルタンツグローバル (27) |
| 5 | 大日本ダイヤコンサルタント (281) | 5 | 建設技術研究所 (34) | 東京建設コンサルタント (52) | ニュージェック (23) |
| 6 | オリエンタルコンサルタンツグローバル (273) | 6 | KANSOテクノス (32) | ドーコン (45) | エコー (23) |
| 7 | 八千代エンジニアリング (261) | 7 | アジア航測 (29) | 日本振興 (42) | 中電技術コンサルタント (13) |
| 8 | エイト日本技術開発 (238) | 8 | エヌエス環境 (23) | いであ(40) | パスコ (10) |
| 9 | パスコ (220) | 9 | 応用地質 (23) | 三井共同建設コンサルタント (39) | 三井共同建設コンサルタント (10) |
| 10 | いであ(209) | 10 | オリエンタルコンサルタンツ (21) | オリエンタルコンサルタンツ (37) | 日本海洋コンサルタント (9) |
| | | | | | 11 いであ(9) |

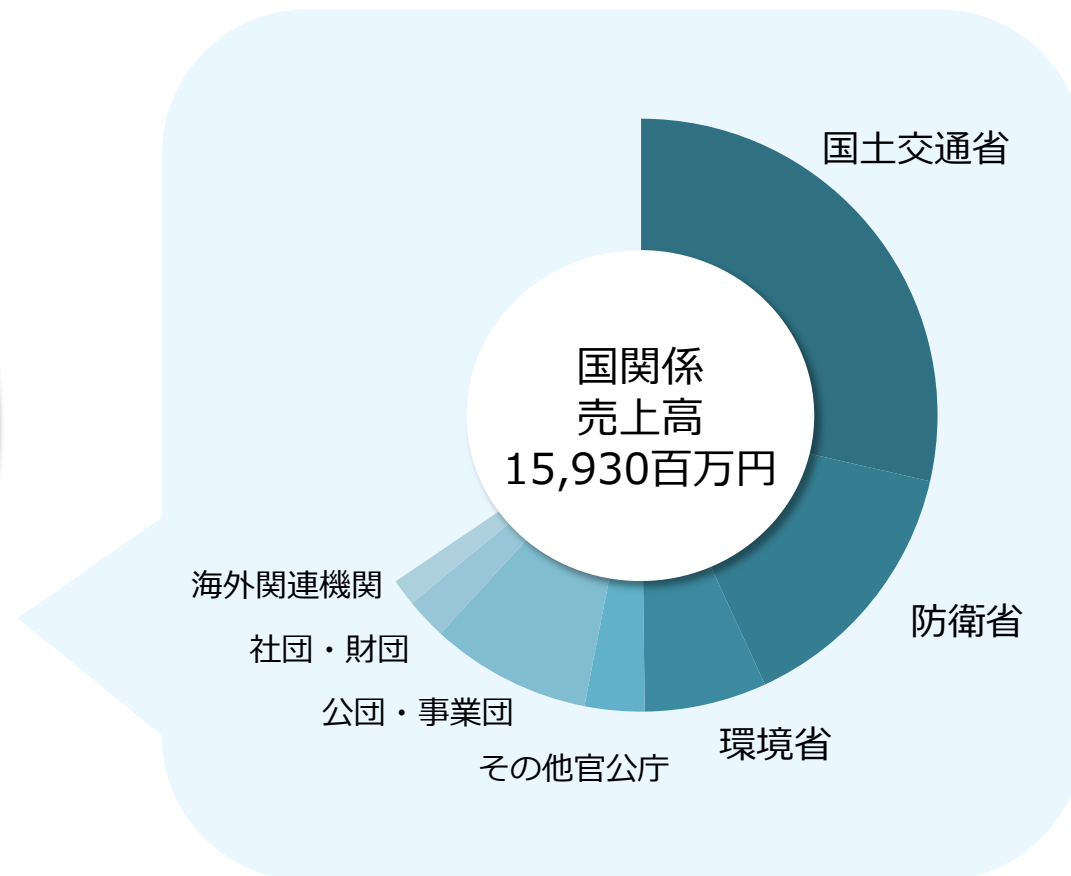
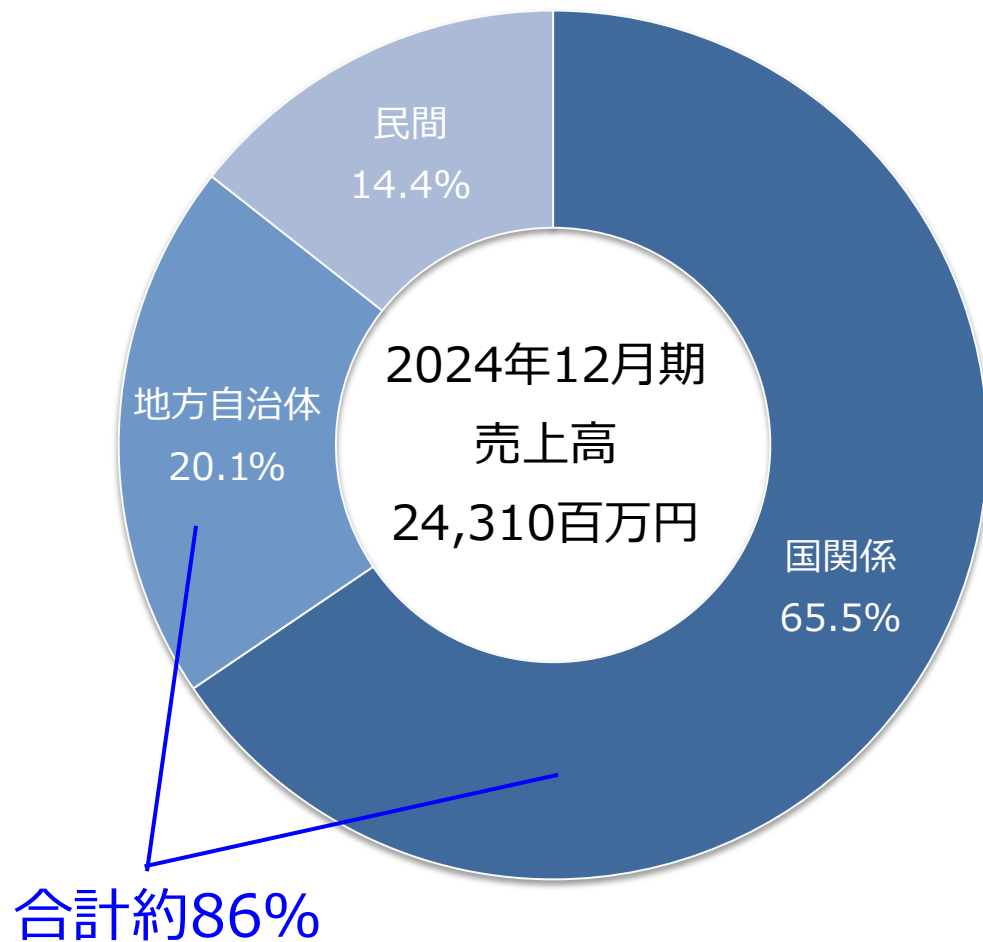
出典) 日経コンストラクション(2024年4月号)「建設コンサルタント決算ランキング2024」

注1) いであ(株)単体のデータを提供。

2) データは2023年12月期。建設コンサルタント部門売上高 20,995百万円, 全体売上高 21,701百万円

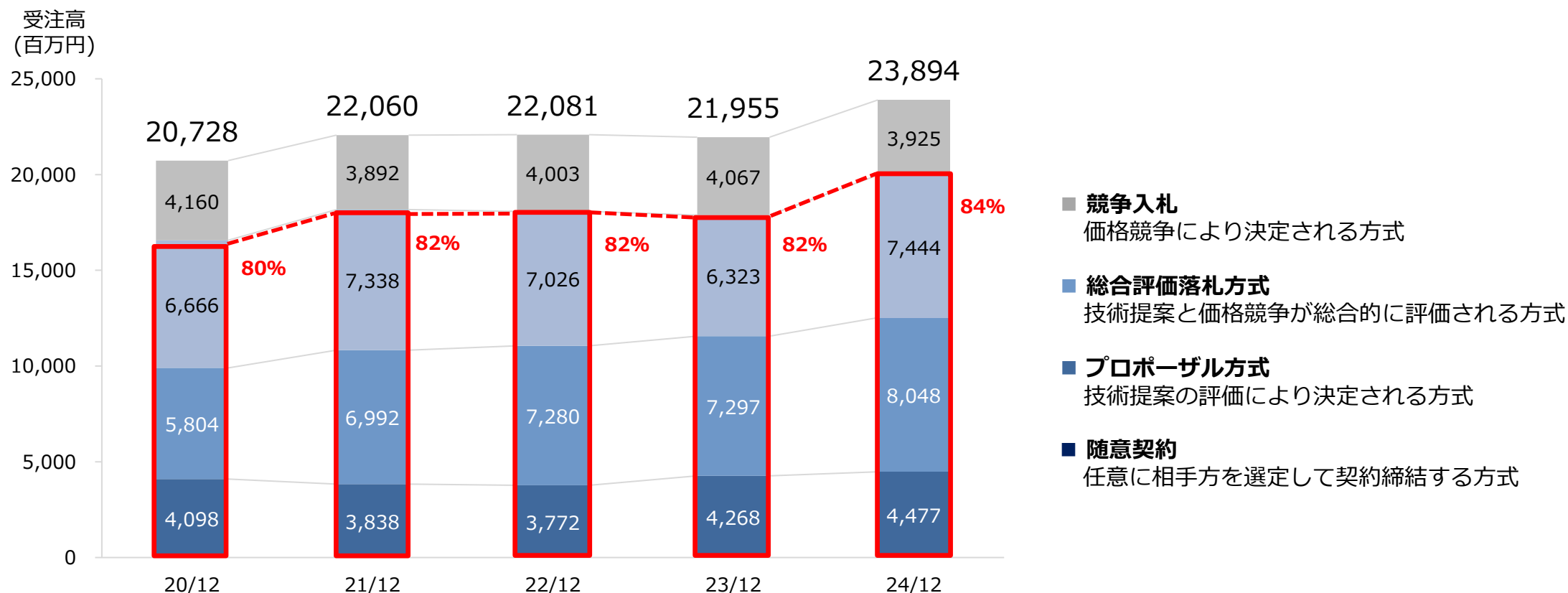
1-4. 主要顧客の概要

- ◆ 「国関係」は65.5%、「地方自治体」が20.1%
- ◆ 「国・地方自治体」で85.6%、残り14.4%が「民間」



1-5. 受注形態別受注高(単体)の推移

- ◆技術力・提案力が重視される契約方式による受注額は全体の8割以上
- ◆特に利益率の高いプロポーザル方式、随意契約の受注高が増加



1-6. いでの強み

強み1 一貫した付加価値の高いサービスの提供

企画

調査

分析・解析

予測・評価

計画・設計

対策・管理

強み2 全国の研究拠点の有機的連携



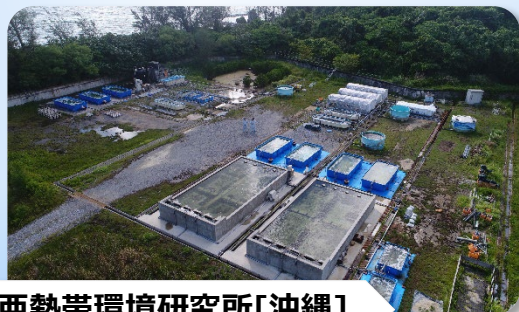
環境創造研究所[静岡]
応用生命科学研究センター

- 淡水・海水を用いた生物の実験・研究
- 多種多様な化学物質の高精度な分析
- 有害化学物質のリスク評価と対策支援
- 調査機器、環境負荷低減装置の開発
- 生体試料分析や遺伝子解析の技術開発



食品・生命科学研究所[大阪]

- 食品の組成分析、農薬等の化学分析
- 食品中の化学物質等のリスク評価
- 創薬・診断分野の研究支援



亜熱帯環境研究所[沖縄]

- 亜熱帯地域の生態系の評価・保全等に関する生態試験、実験・研究
- 希少生物等の繁殖飼育



国土環境研究所[神奈川]

- 数値予測モデル開発
- 生態系解析手法開発
- 環境調査・解析手法の開発



富士研修所[山梨]

- 階層別研修
- 専門技術研修 等



社会基盤本部[東京]

技術・人的連携

AI研究開発室

社内DX推進室

砂防センター

BIM/CIMセンター

インフラメンテナンス技術センター

< 2.2024年12月期決算のポイント >

2-1. 連結決算概要

2-2. セグメント別売上高及び営業利益率の推移

2-3. 連結貸借対照表

2-4. 連結キャッシュ・フロー

2-1. 連結決算概要

- ◆売上高は、前期比7.1%増加の243億1千万円
- ◆営業利益率は13.4%、親会社株主に帰属する当期純利益率は9.8%

| (単位：百万円) | 22/12期 | 23/12期 | 24/12期 | 前期比 |
|----------------------------|------------------|------------------|------------------|--------|
| 受注高 | 23,019 | 22,715 | 24,821 | +9.3% |
| 売上高 | 23,035 | 22,698 | 24,310 | +7.1% |
| 営業利益 (率) | 3,154 (13.7%) | 2,791 (12.3%) | 3,254 (13.4%) | +16.6% |
| 経常利益 (率) | 3,278 (14.2%) | 2,991 (13.2%) | 3,423 (14.1%) | +14.5% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 (率) | 2,149 (9.3%) | 1,989 (8.8%) | 2,376 (9.8%) | +19.4% |
| ROE | 9.5% | 7.8% | 8.6% | +0.8% |

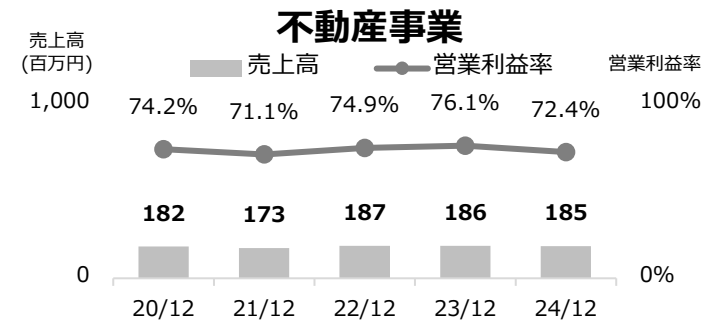
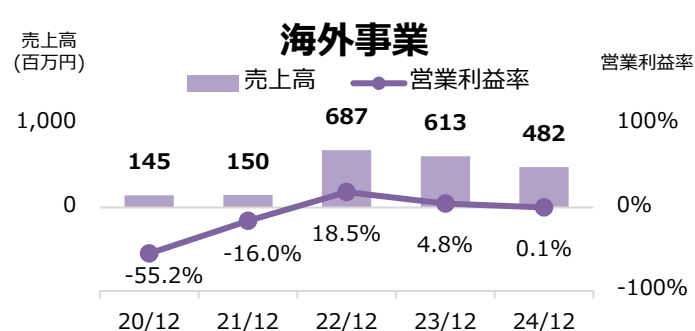
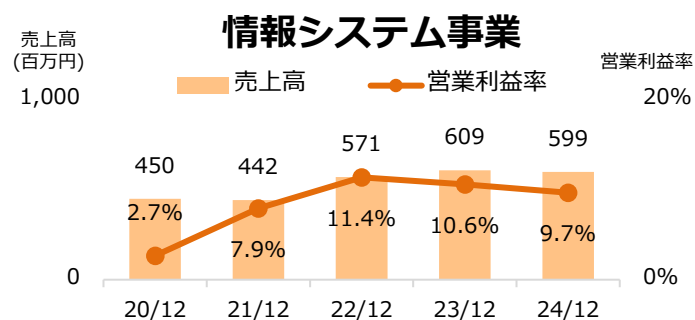
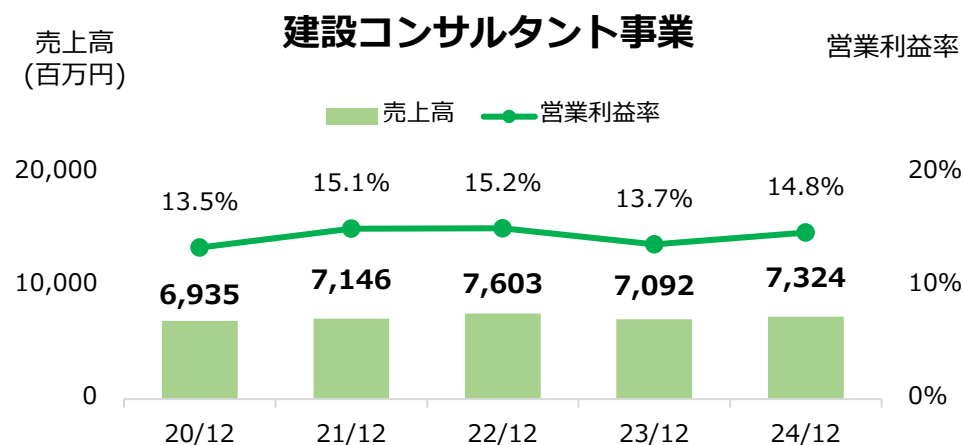
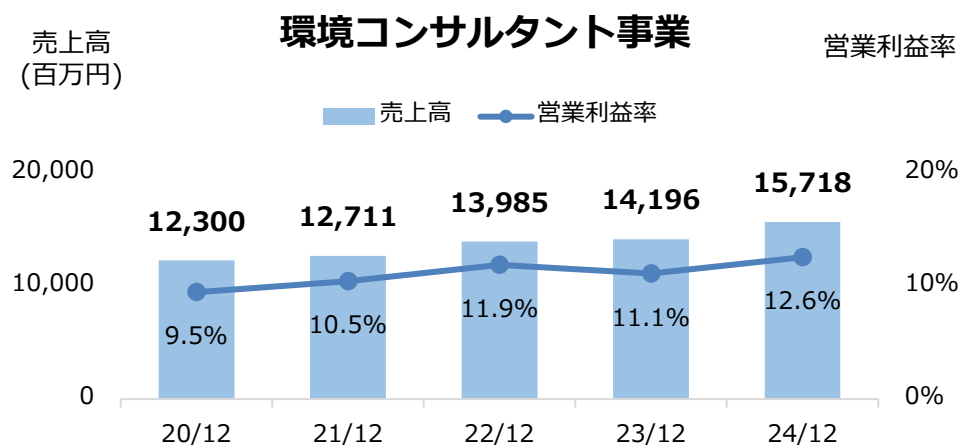
過去最高
を更新

※22/12期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用しております

2-2. セグメント別売上高及び営業利益率の推移

- ◆ 環境コンサルタント事業の売上高は23/12期比10.7%増、営業利益率は同1.5ポイント増
(大規模な海洋環境調査や再生可能エネルギー関連の環境調査、AUVの設計製作・運用支援業務等の増加)
- ◆ 建設コンサルタント事業の売上高は23/12期比3.3%増、営業利益率は同1.1ポイント増
(防災・減災関連業務やインフラ施設の維持管理関連業務等の増加)

※セグメント間取引を除く



※22/12期より(株)Ides〔海外事業〕、(株)クリアテック〔建設コンサルタント事業〕を連結範囲に含めております

2-3. 連結貸借対照表

- ◆ 流動資産は24億1千7百万円増加の172億6千1百万円
(現金及び預金、営業未収入金及び契約資産の増加が主な要因)
- ◆ 固定資産は5億3千2百万円増加の201億9千1百万円
(建物、投資有価証券の増加が主な要因)
- ◆ 自己資本比率は76.7%と0.2ポイント減少

| 23/12期 | | 24/12期 | |
|--------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 資産合計 34,504百万円 | 負債合計 7,965百万円 | 資産合計 37,452百万円 | 負債合計 8,726百万円 |
| - 流動資産 - 14,844百万円 | 純資産合計 26,538百万円 | - 流動資産 - 17,261百万円 | 純資産合計 28,726百万円 |
| - 固定資産 - 19,659百万円 | 自己資本比率 76.9% | - 固定資産 - 20,191百万円 | 自己資本比率 76.7% |

2-4. 連結キャッシュ・フロー

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フローは40億5百万円
(税金等調整前当期純利益の増加、法人税等の支払額の減少が主な要因)
- ◆ 投資活動によるキャッシュ・フローは△11億6千万円
(有形固定資産の取得が主な要因：東北支店の建設費用及び航空機の購入など)
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フローは△13億6千7百万円
(借入金の減少が主な要因)

| (単位：百万円) | 23/12期 | 24/12期 |
|------------------|--------|---------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △160 | 4,005 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,664 | △1,160 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 169 | △1,367 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △1,651 | 1,479 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,945 | 2,293 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,293 | 3,773 |

< 3.2025年12月期の計画 >

3-1. 市場環境

3-2. 連結決算予想

3-3. セグメント別売上高の予想

3-4. 配当政策

3-5. 資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応

3-1. 市場環境

- ◆ 令和7年度政府予算案における公共事業関係費は引き続き安定的に確保が見込まれる
- ◆ 政府予算の重点施策や、脱炭素、海洋の産業利用促進などの分野にも強みを発揮

当社事業に関する政府予算の重点施策

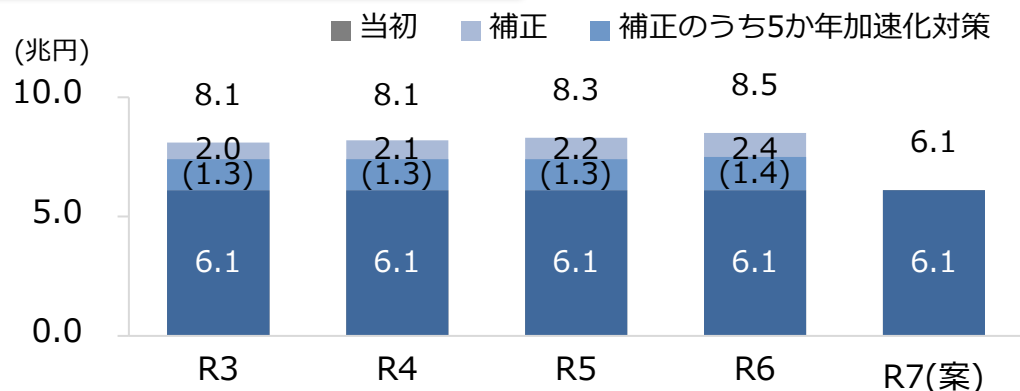
令和7年度予算案（国土交通省）

- 防災・減災、国土強靱化の強力な推進
- ハード・ソフト一体となった流域治水対策
- DXやAIなどを活用した洪水予測やダム運用
- 人流・物流確保のための道路ネットワーク整備
- 能登半島地震を踏まえた海岸・港湾の耐震対策 等

令和7年度予算案（環境省）

- 30by30目標※の実現への取り組み
 - 生物多様性やブルーカーボン等に関する情報基盤の整備
 - 地域循環共生圏の創出・拡大
 - 海洋プラスチックごみへの総合対策
 - エコチル調査、PFAS総合対策の推進 等
- ※2030年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標

公共事業関係費の推移



その他の施策やニーズ

脱炭素社会の実現

- ・再生可能エネルギー（洋上風力発電）の拡大 ・グリーンインフラ
- ・持続可能な地域づくり（脱炭素、自然共生、資源循環の統合的解決）
- ・ブルーカーボン ・企業のサステナビリティ経営の推進

海洋基本計画（海洋の産業利用の促進）

- ・海洋資源開発、AUV戦略、水産業の成長産業化など

第6次環境基本計画

- ・ウェルビーイング ・ネイチャーポジティブ ・循環経済 ・経済安全保障

3-2. 連結決算予想

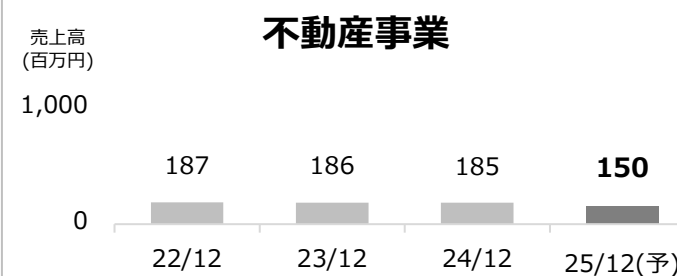
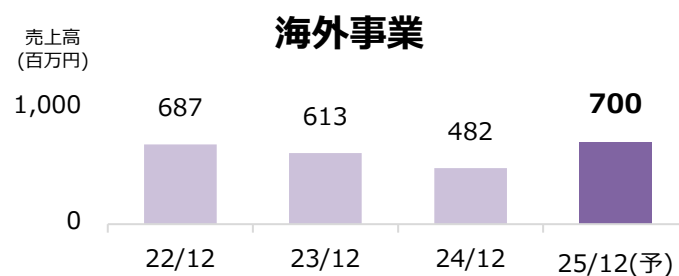
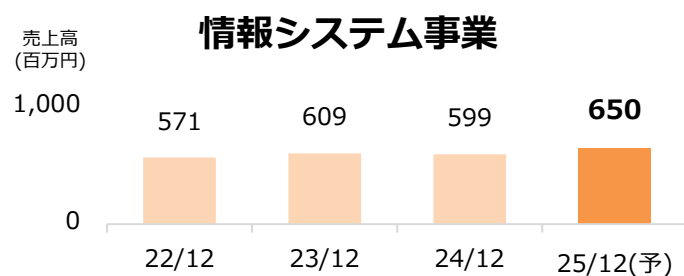
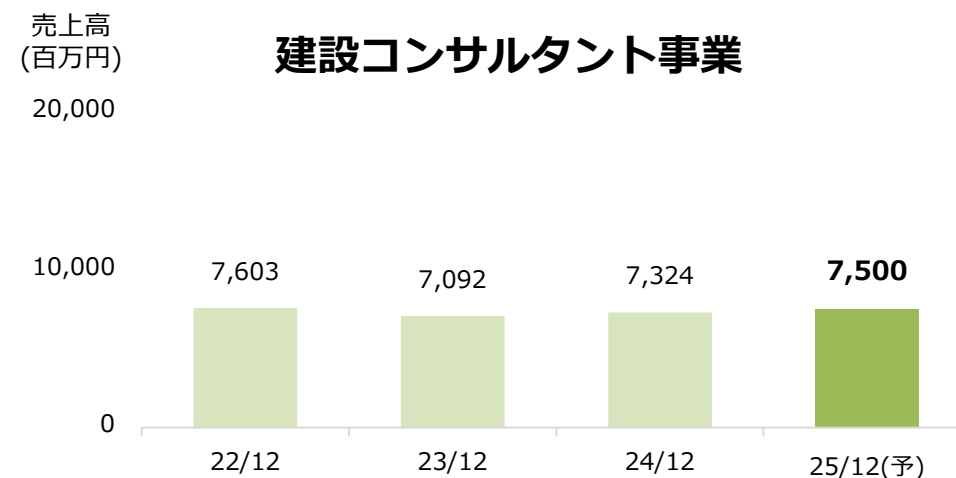
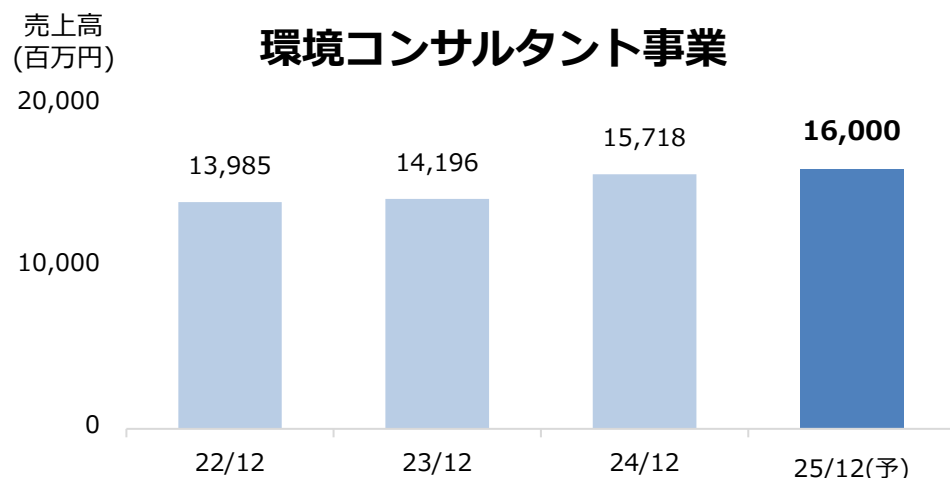
- ◆ 売上高は6億9千万円増の250億円（前期比2.8%増）
- ◆ 営業利益は1億1千6百万円増の33億7千万円（同3.6%増）
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は24億円（同1.0%増）

| (単位：百万円) | 23/12 実績 | 24/12 実績 | 25/12 予想 | 対前期 増減 |
|----------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 売上高 | 22,698 | 24,310 | 25,000 | 690 (+2.8%) |
| 営業利益 (率) | 2,791 (12.3%) | 3,254 (13.4%) | 3,370 (13.5%) | 116 (+3.6%) |
| 経常利益 (率) | 2,991 (13.2%) | 3,423 (14.1%) | 3,535 (14.1%) | 112 (+3.3%) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 (率) | 1,989 (8.8%) | 2,376 (9.8%) | 2,400 (9.6%) | 24 (+1.0%) |
| 受注高 | 22,715 | 24,821 | 25,400 | 579 (+2.3%) |

3-3. セグメント別売上高の予想

- ◆環境コンサルタント事業は2億8千2百万円増の160億円（前期比1.8%増）
（大規模な海洋環境調査や再生可能エネルギー関連の環境調査、AUVの設計製作・運用支援業務等の増加見込み）
- ◆建設コンサルタント事業は1億7千6百万円増の75億円（前期比2.4%増）
（防災・減災関連業務やインフラ施設の維持管理関連業務等の増加見込み）

※セグメント間取引を除く

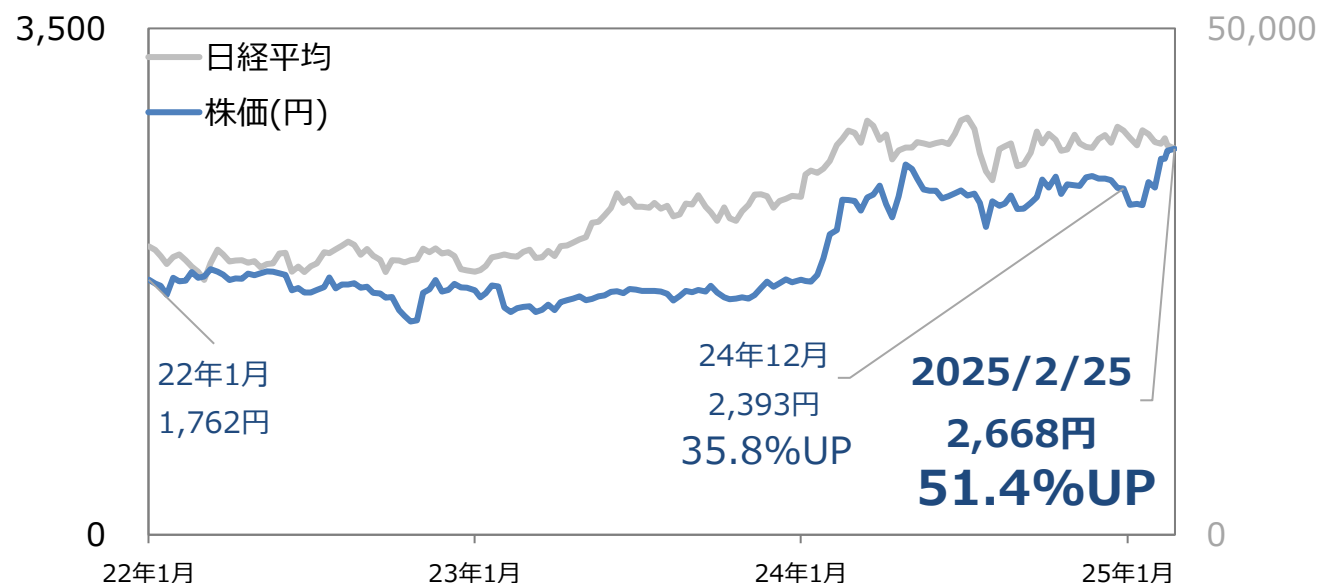
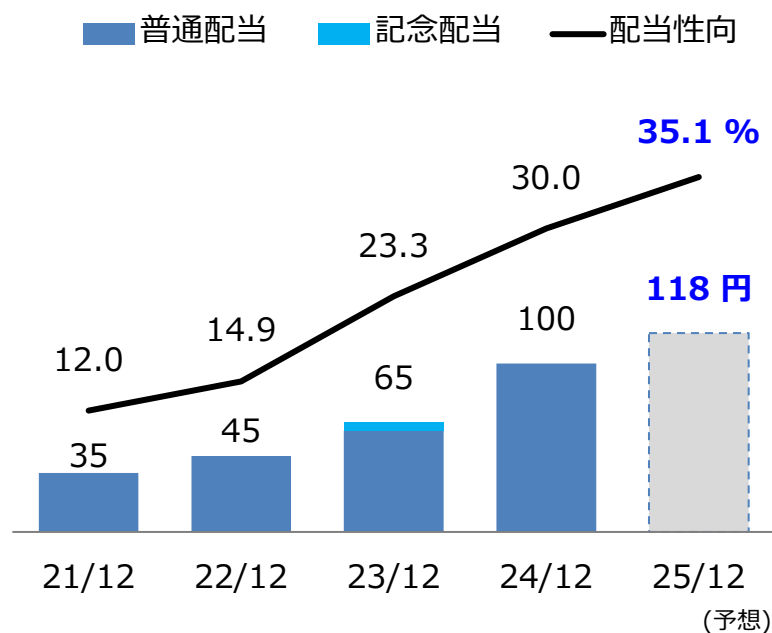


3-4. 配当政策

基本方針

経営基盤の強化と将来の事業拡大のための設備投資等に必要な内部留保を確保しつつ、株主様への安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする
⇒事業環境や利益状況に応じて、配当水準を検討

- ◆ 24/12期の配当予定は100円 配当性向：30.0%
- ◆ 25/12期の配当予想は118円 配当性向：35.1%



3-5. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

基本方針

株主・投資家の皆様から当社の成長性を適切に評価いただき、PBR1倍を上回る水準を目指す

取り組みの成果

- ◆収益力の向上：2024/12期は売上、利益ともに過去最高を更新
- ◆株主還元水準向上：期末配当金は100円（配当性向30%）を予定

現状評価（2024年11月）

- ◆売上高、営業利益とも堅調に推移
- ◆ROIC、ROEなど一定水準を継続しているものの、PBR 1倍は未達

取り組み施策の見直し

施策 1 収益力の向上

- 第6次中期経営計画の確実な達成による安定的な成長
- 既存コア事業の収益の底上げと成長分野への積極的投資により収益の向上

施策 2 株主還元水準の維持・向上

- 当社配当方針を原則としつつ、第6次中期経営計画期間中に配当性向35～40%、総還元性向50%を目指す
(2025/12期 配当予想118円、同 配当性向35.1%)

施策 3 IR・SRの充実

- 株主、投資家の皆様に当社への理解を深めていただくため、引続き情報発信や対話機会を充実・拡充
(非財務情報等に関する情報開示の充実など)

| (百万円) | 22/12期 | 23/12期 | 24/12期 |
|----------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 23,035 | 22,698 | 24,310 |
| 営業利益 | 3,154 | 2,791 | 3,254 |
| ROIC | 8.6% | 6.9% | 7.7% |
| ROE | 9.5% | 7.8% | 8.6% |
| PBR | 0.5倍 | 0.5倍 | 0.6倍 |
| 株価(12月末) | 1,708円 | 1,746円 | 2,393円 |

< 4. 第6次中期経営計画について >

4-1. 前中期経営計画の成果

4-2. マテリアリティと2035年に目指す姿

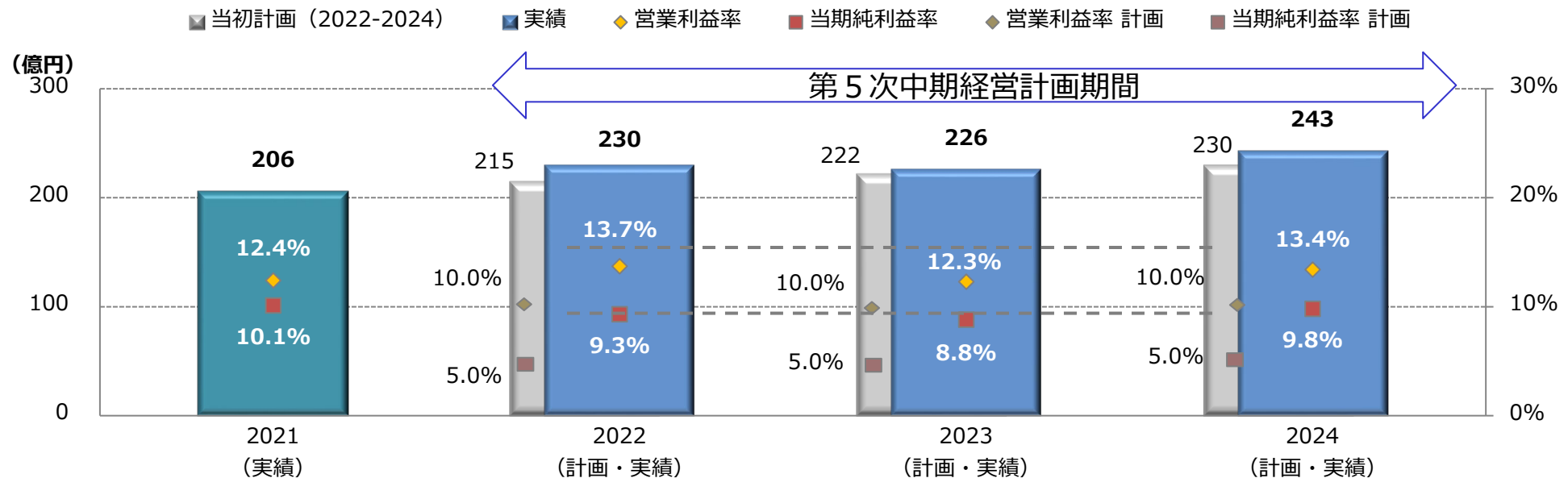
4-3. 第6次中期経営計画（2025～2027）の概要

4-4. 成長戦略

4-1. 前中期経営計画の成果：数値目標の達成状況

- ◆ 最終年の売上高目標（230億円）に対して約13億円増加の243億円を達成
- ◆ 営業利益率は3カ年平均で13.1%（第4次中計期間）は3カ年平均で11.0%

| 2024/12期 当初目標（連結） | | 2024/12期 実績（連結） | |
|-------------------|-------|-----------------|----------------------|
| 売上 | 230億円 | 売上 | 243億円 |
| 営業利益率 | 10.0% | 営業利益（率） | 32.5億円（13.4%） |
| 当期純利益率 | 5.0% | 当期純利益（率） | 23.7億円（9.8%） |



4-1. 前中期経営計画の成果：重点課題と主な成果

- ◆ 重点事業分野では技術開発の成果が新たな収益基盤となり、受注・売上拡大
- ◆ 人材の確保・育成についても採用者数の確保、有資格者の増加など一定の成果

| 重点課題 | 主な成果 |
|---------------------|---|
| 重点事業分野 | <ul style="list-style-type: none">▶ 海洋調査事業の拡大<ul style="list-style-type: none">・海洋資源開発に伴う環境調査・生態系調査・再生可能エネルギー導入に向けた環境調査・AUV（自律型無人潜水機）の設計製作・運用支援業務▶ 企業の環境分野における経営課題のコンサルティングサービス<ul style="list-style-type: none">・TCFD、TNFD提言に伴う開示対応▶ 建設コンサルタント事業におけるDX推進<ul style="list-style-type: none">・AI技術を用いたダム管理・リアルタイム流量観測システム・インフラ設計におけるBIM/CIMの効果的活用 |
| 次世代を担う多様な人材の確保・育成 | <ul style="list-style-type: none">▶ インターンシップの強化、大学の就職説明会への参加▶ 資格取得のための研修や専門技術者研修の実施・強化 |
| 魅力と活力のある働きやすい企業づくり | <ul style="list-style-type: none">▶ 給与の増加や手当などの増加・拡充▶ 社内制度の拡充（テレワークや時間休、保存有給休暇制度導入） |
| 組織の一体化・効率化とガバナンスの強化 | <ul style="list-style-type: none">▶ (株)Ides、(株)クリアテックを連結化▶ ミス瑕疵の防止や品質向上に向けた施策の実行 |

4-2.マテリアリティと2035年に目指す姿

7つのマテリアリティ

経営ビジョンの実現のため、優先的に取り組むべき重要な課題を特定

■ 事業活動におけるマテリアリティ

- 1) 未来を支えるレジリエントなインフラ整備と地域共創
- 2) 持続可能な脱炭素・循環型社会への貢献
- 3) 地球環境の保全と自然共生社会の実現
- 4) 人々の健やかで安全・安心な暮らしへの貢献

■ 組織活動におけるマテリアリティ

- 5) チャレンジ精神あふれる多様な人財の確保・育成と魅力ある職場づくり
- 6) ガバナンスの高度化と経営基盤の強化
- 7) イノベーションと組織連携強化による成長基盤の形成

2035年に目指す姿

第5次中期経営計画 (2022年～2024年)

イノベーションの加速と
総合力の結集による
事業領域の拡大と経営基盤の強化

24/12期実績

| | |
|-------|--------|
| 連結売上高 | 243 億円 |
| 営業利益 | 32 億円 |
| 当期純利益 | 23 億円 |

第6次中期経営計画 (2025年～2027年)

DX推進と共創による
新たな価値創造に向けた
変革への挑戦

27/12期目標

| | |
|-------|--------|
| 連結売上高 | 268 億円 |
| 営業利益率 | 12% 程度 |

2035年に目指す姿

革新的な技術と
多様なプロフェッショナルの共創により
人と地球の未来を創る
総合コンサルティング企業

数値目標

| | |
|--------|---------|
| 連結売上高 | 350 億円 |
| 連結従業員数 | 1,400 人 |

4-3.第6次中期経営計画(2025~2027)の概要

- ◆ 本中期経営計画では、目標達成のため、5つの戦略を大きな柱として、果敢な実践を通じて変革への挑戦を進めていく

スローガン

DX 推進と共創による新たな価値創造に向けた変革への挑戦

数値目標

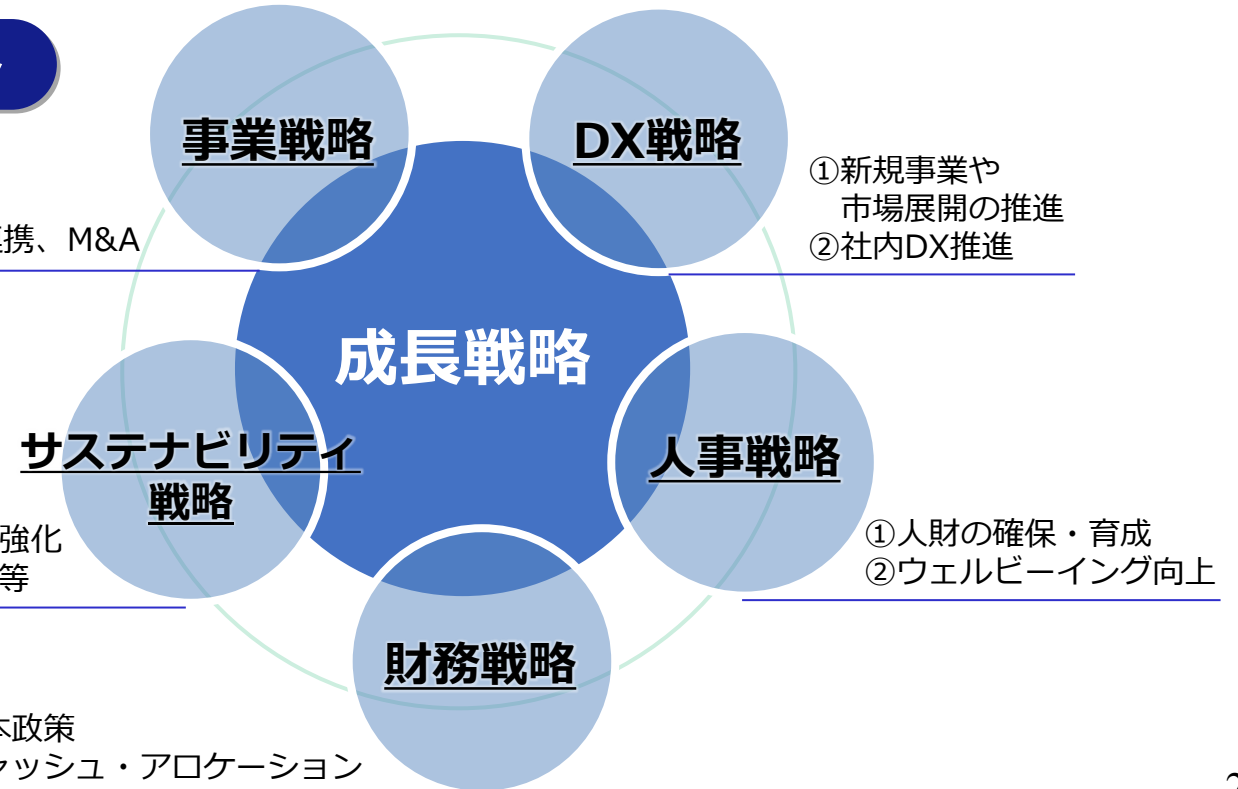
▶ 売上高

| (百万円) | 25/12期 | 26/12期 | 27/12期 |
|-------|--------|--------|--------|
| 単体 | 24,000 | 24,700 | 25,700 |
| 連結 | 25,000 | 25,700 | 26,800 |

- ▶ 営業利益率 12.0%程度
- ▶ 社員数 (単体) 1,050人
(連結) 1,200人
- ▶ 有資格者 100人増加 (2023年比)

成長戦略

- ①重点事業
- ②技術開発
- ③グループ連携、M&A



4-4.成長戦略（1）：事業戦略での重点事業

◆ 全ての重点事業において、DX推進、IoT、ロボット、AI等を積極的に利活用する

（カッコ内：24/12期実績⇒27/12期目標〔単体〕）

環境コンサルタント事業（149億円⇒164億円）

- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 海洋調査
- 生物多様性の維持・回復と持続的な利用
- 生命科学（化学分析・評価）
- 廃棄物・土壌汚染対策

建設コンサルタント事業（71億円⇒76億円）

- 防災・減災対策
- インフラ維持管理
- まちづくり・地域マネジメント

重点事業

情報システム事業（5.9億円⇒7.0億円）

- 画像解析およびAI技術開発
- メタバース・デジタルツイン構築
- 衛星リモートセンシング

海外事業（3.0億円⇒6.8億円）

- 気候変動対策、廃棄物管理/資源循環、海洋環境保全メタバース・デジタルツイン構築
- 防災対策およびインフラ整備

4-4-1.重点事業：海洋調査

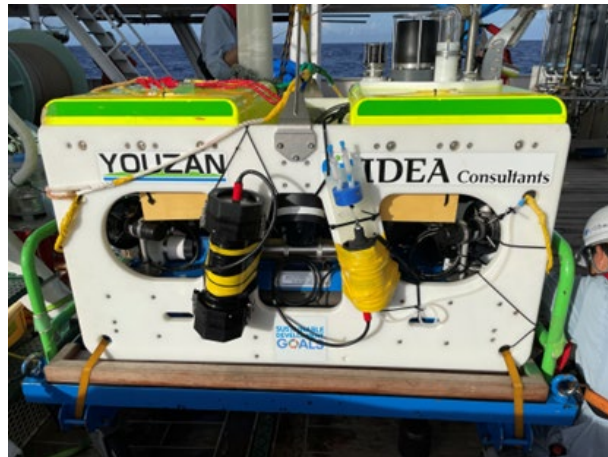
社会動向

第4期海洋基本計画、海洋エネルギー・鉱物資源開発計画、海洋の持続的な利用、環境保全、経済安全保障

海洋調査事業の拡大

- ▶ 海洋調査トップ企業としての総合技術力に水中ロボティクス技術を付加した多様な技術メニューを開発・提供
- ▶ 水中ロボティクス事業のワンストップサービス化を促進
(開発設計・製作、調査・運用、メンテナンス、コンサルティング)

ホバリング型AUV「YOUZAN」による新たな深海生態系調査



環境DNA試料採取用に開発した装備をAUVに装着



撮影された深海生物

国のAUV実証試験に採択（AUVを用いた水中心検技術の開発促進）

崎山沖2MW浮体式洋上風力発電所 (はえんかぜ) <https://haenkaze.com>

実海域試験での検証

拡大図

ハイブリッドスパー型
上部浮体 (鋼構造)
下部浮体 (コンクリート構造)
噴水:76m
アンカー
浮体直径 7.8m (最大)
係留チェーン (3本)

実証試験のシステム構成

| ホバリング型AUV YOUZAN | AUV位置制御システム | 3Dデータによる施設点検システム | 水中測位システム |
|-------------------------------|--------------------------|---------------------------------------|---|
| 自由度の高い運動性能を有し、ホバリングや低速での航行が可能 | ソナーで浮体を検知し、浮体を周回潜航するシステム | 水中構造物の画像処理に特化したAI技術を活用した「3Dデータ作成システム」 | GPS AUVの位置検出機 USBL Acoustic Link トランスミッター 受信モジュール |
| | | | |

代表実施者 いであ株式会社
共同実施者 戸田建設株式会社
共同実施者 国立大学法人東京海洋大学
共同実施者 国立大学法人九州工業大学

AUVを用いた浮体式洋上風力発電施設の点検を実現するための実証実験

4-4-2.重点事業：脱炭素・循環型社会への貢献

社会動向

2050年カーボンニュートラルに向けた国際目標、環境基本計画、サーキュラーエコノミー

企業の環境分野における経営課題へのコンサルティングサービスを本格化

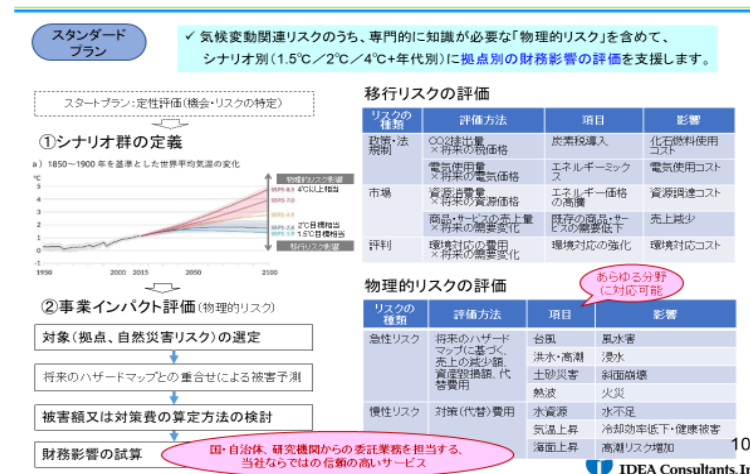
- ▶ TCFD※1：自社以外の温室効果ガス排出量(Scope3)、自然災害による財務影響などの高度な技術のコンサルティング
- ▶ TNFD※2：環境負荷の定量化や生物多様性の現地調査など開示支援サービスを開始
- ▶ TCFDとTNFDに共通する「水リスク」の評価や対応、CDP※3支援先も増加
- ▶ 東京海上日動火災保険株式会社と「脱炭素サプライチェーン構築支援」のため、包括業務提携契約を締結
新エネルギーとしての水素・アンモニア等利用におけるリスク可視化を支援し、環境面の経営課題を解決



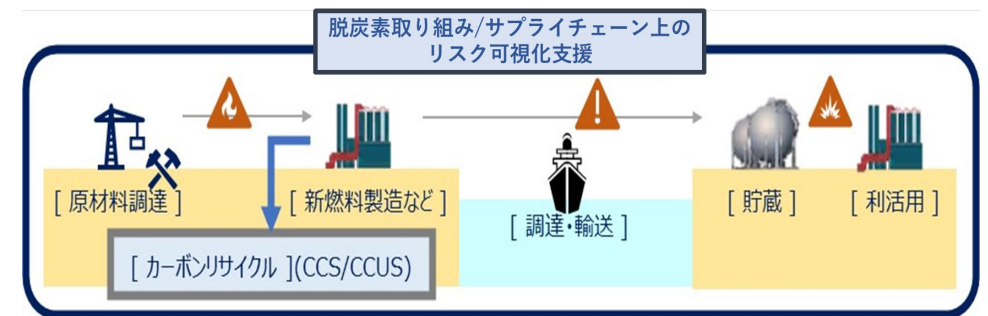
※1 TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

※2 TNFD：自然関連財務情報開示タスクフォース

※3 CDP：Carbon Disclosure Project



TCFD提言に基づく気候関連リスク・機会の評価支援サービス



新燃料の運送・貯蔵・活用等におけるリスク低減コンサルティング

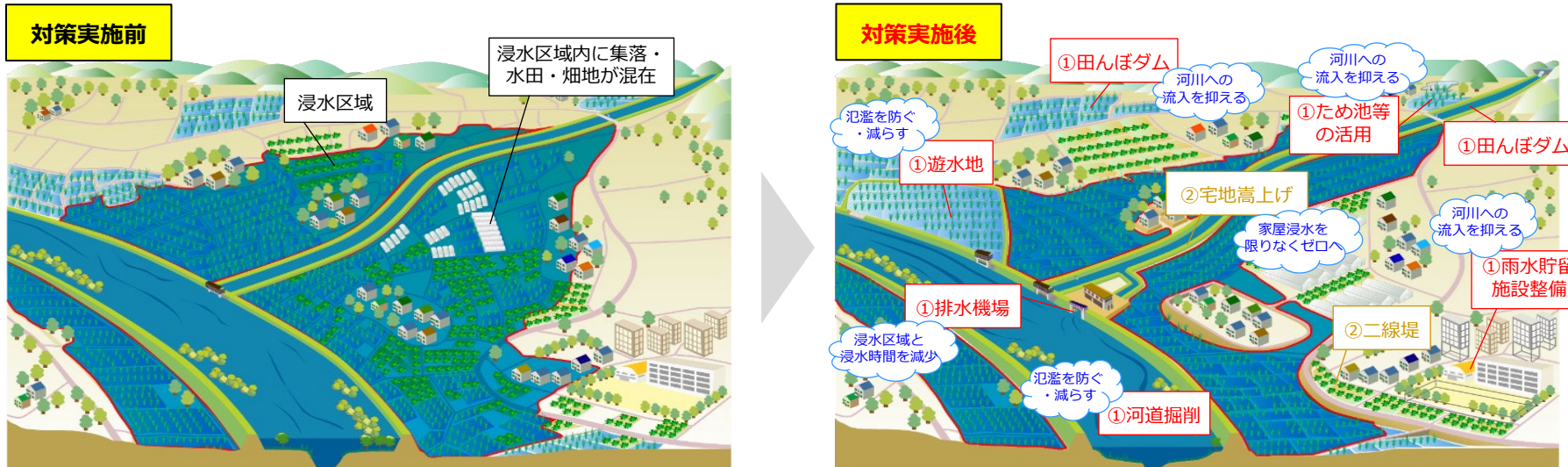
4-4-3.重点事業：防災・減災対策

社会動向

水害や土砂災害の激甚化への対応、防災・減災、国土強靱化5カ年加速化対策の推進

東北地方初の流域水害対策計画を策定

- ▶ 近年の水災害の激甚化・頻発化に対し、流域治水の推進等のため、吉田川・高城川を特定都市河川に指定（令和5年7月）
- ▶ 水害リスク分析、対策立案・評価、地域の意見を反映した流域水害対策計画案作成に携わり、東北地方初の流域水害対策計画を策定（令和6年11月）
- ▶ 得られた知見を活用し、今後も国民が安全・安心に暮らせる地域づくりに向けて尽力していく



吉田川で取り組む流域治水のイメージ

対策検討項目

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策
- ④ 命と生業を守る流域のサポート

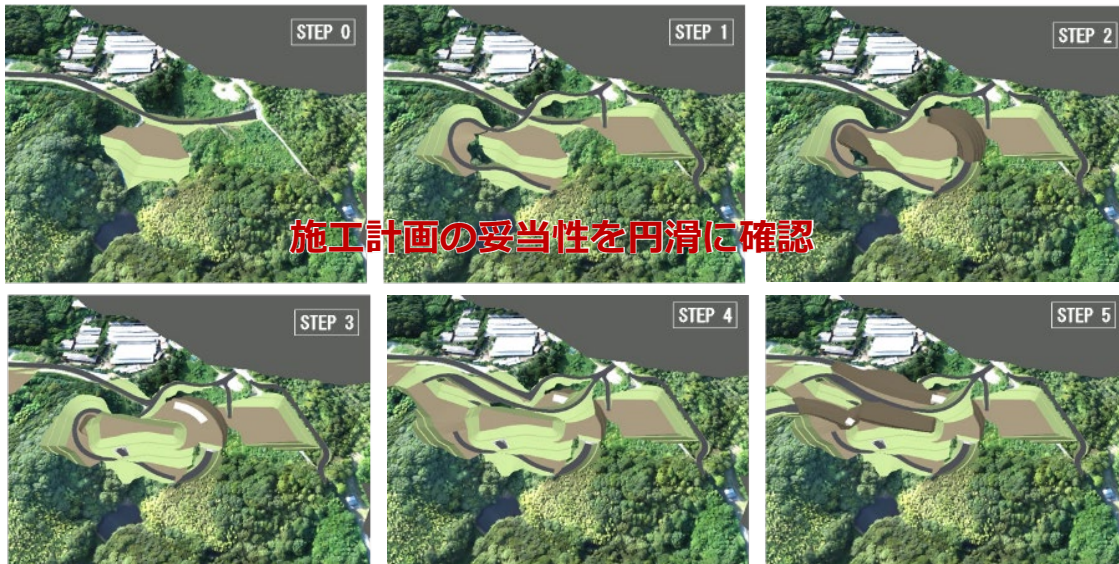
4-4-4.重点事業：DX推進

社会動向

国土交通省におけるi-Construction推進の一環により、同省の設計業務・工事では3次元モデルを活用するBIM/CIMが原則適用

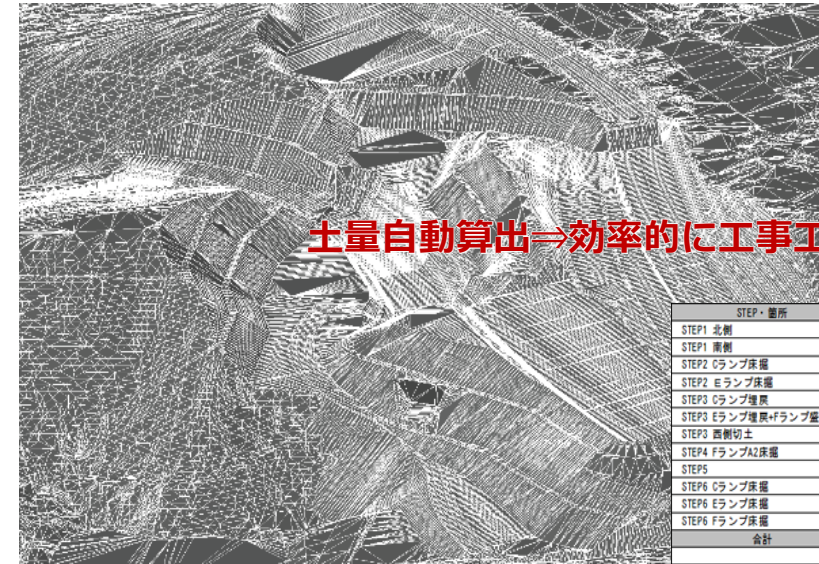
BIM/CIM有効活用 – 道路計画検討事例

- ▶ 従来の2次元図面を用いた建設生産・管理プロセスから、CIM技術を活用した3次元モデルによる施工ステップを再現し施工計画を見える化（⇒国土交通省中国地方整備局/DX表彰を受賞）
- ▶ より多くの実績を積み重ね、品質向上・業務効率化を推進し受注を拡大



施工計画の妥当性を円滑に確認

施工ステップ3次元モデル



土量自動算出⇒効率的に工事工程に反映

サーフェスモデルを活用した土量算出

| STEP・箇所 | 面積(m ²) | 切土量(m ³) | 盛土量(m ³) | ネット土量(m ³) |
|--------------------|---------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| STEP1 北側 | 8508.08 | 44243.46 | 535.76 | 43707.70(切土) |
| STEP1 南側 | 9460.53 | 27312.11 | 6893.02 | 20419.09(切土) |
| STEP2 Cランプ床掘 | 5889.72 | 38722.50 | 9.94 | 38712.56(切土) |
| STEP2 Eランプ床掘 | 1639.49 | 5660.82 | 914.06 | 4746.76(切土) |
| STEP3 Cランプ埋戻 | 2620.14 | 1.33 | 15981.56 | 15980.23(盛土) |
| STEP3 Eランプ埋戻+ランプ盛土 | 7057.78 | 2.32 | 39607.94 | 39605.62(盛土) |
| STEP3 西側切土 | 3955.22 | 19208.74 | 5.86 | 19202.88(切土) |
| STEP4 FランプA2床掘 | 652.61 | 3510.62 | 0.00 | 3510.62(切土) |
| STEP5 | 12775.01 | 76357.39 | 9941.28 | 66416.11(切土) |
| STEP6 Cランプ床掘 | 4530.14 | 26966.02 | 9.77 | 26956.25(切土) |
| STEP6 Eランプ床掘 | 5010.43 | 26155.86 | 0.05 | 26155.81(切土) |
| STEP6 Fランプ床掘 | 3210.29 | 15492.07 | 1.26 | 15490.82(切土) |
| 合計 | 65309.44 | 283633.24 | 73900.49 | 209732.75(切土) |

4-4-5.重点事業：DX推進

社会動向

国土交通省におけるi-Construction推進の一環により、オートメーション化による生産性向上(省人化)を推進

リアルタイム流量観測システムによる省人化の実現

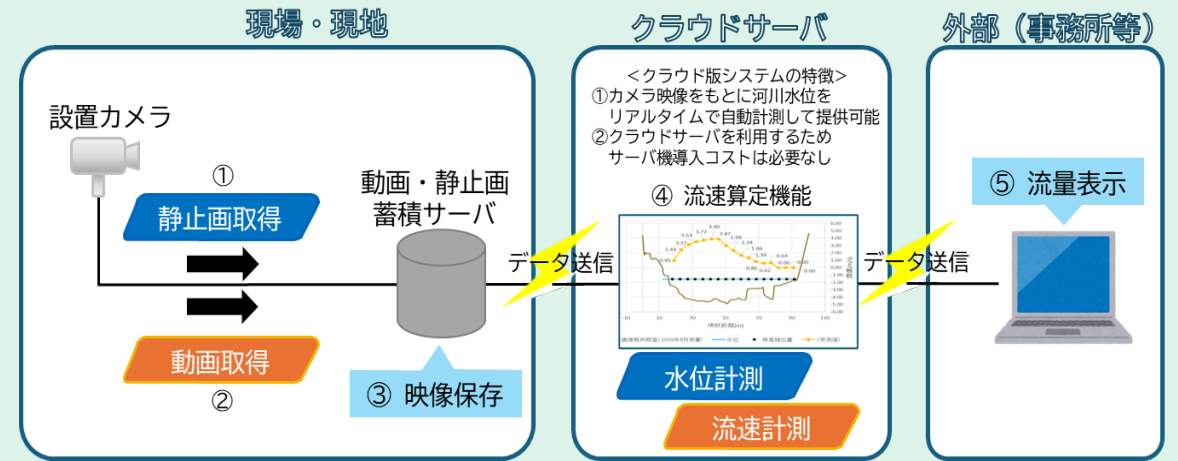
- ▶ 従来の流量観測では、観測時の安全性や人員確保、データ欠測や担い手不足等が課題
- ▶ リアルタイム流量観測システム ⇒ 無人化・省力化が期待できる非接触型流量観測手法を構築
- ▶ 国土交通省、自治体においても流量観測の高度化が進められており、システムおよびサービスの導入を実施中



従来の流量観測（浮子測法）



カメラ映像による流速自動計測



クラウド環境でのリアルタイム流量観測システム

トピックス – 能登半島地震・奥能登豪雨への対応

令和6年能登半島地震と奥能登豪雨における災害対応

- ▶ 令和6年1月に発生した地震で被災した港湾・道路・河川に対して、緊急点検や災害査定対応を実施
- ▶ 同年9月の豪雨で被災した道路・河川に対しては、災害査定対応を実施し、現在設計業務を継続実施中
- ▶ 能登半島での地震、大雨による複合災害の復旧・復興に向けて、全社一丸となって取り組みを推進

能登半島地震（令和6年1月）



地震発生翌日から災害復旧に向けた被災状況調査を実施

写真提供：国土交通省北陸地方整備局



地震災害後の河川災害状況を調査

奥能登豪雨（令和6年9月）



豪雨災害後の道路災害状況を調査

4-4.成長戦略（2）：DX戦略

- ◆ 事業環境の変化に対応するため、IoT、ロボット、AI、デジタルツインなど先端技術を活用し、DXを推進していく

DX推進によるビジネスモデルの変革とDX人材育成 新規事業の創出、生産性向上

事業におけるDX推進

- AIに関連する要素技術開発と業務への利活用支援
- デジタルツイン、AIなどに関する積極的な技術開発
- DX推進による新規事業の創出、市場展開の加速、社内外の共創を推進

DX推進を図る重点事業

- ・ 3D情報集約システム
- ・ 高度流量観測システム
- ・ ダム管理AIシステム
- ・ インフラメンテナンスDXシステム

DX推進による経営基盤強化

- AIやデータ活用などのデジタルスキルを持つ人材の確保・育成（専門技術スキルとの相乗効果）
- 業務・人材に関する情報の統合的活用

400名（3年間）程度のDX人材の育成

社内における業務情報など
一元管理と人材情報との連携

4-4.成長戦略（3）：人事戦略

- ◆ 経営戦略に沿った適正な人員配置や、人財確保・育成などの人的資本投資を強化することで、戦略的で機動的な生産体制を構築
- ◆ 多様な人財が専門性や強みを活かし、能力を活かしながらウェルビーイング向上を図る

多様な人財が自身の能力を発揮し、生き生きと働ける企業へ

ウェルビーイング向上

適正な人員配置

- タレントマネジメントシステム導入
- 事業戦略・DX戦略実現のための最適配置
- 公平で透明性の高い人事評価制度

人財確保・育成

- 採用強化
- 成長分野強化のための専門人財確保
- プロフェッショナル人財育成
- 資格取得、リスキリングの推進

健康経営・ワークライフバランス

- 心と身体健康づくりの推進
- 時間外労働の削減
- 有給休暇取得の推進

職場環境・エンゲージメント

- オフィス環境向上
- 社員のエンゲージメント調査
- 積極的なチャレンジを促す組織風土醸成

柔軟な働き方

- 地域総合職の導入、テレワークなど

4-4.成長戦略（4）：財務戦略

- ◆ 成長・注力分野に向けた投資：各戦略実行のための技術開発や調査・分析機器整備
- ◆ 基幹系システムやサイバーセキュリティ対策等に関するIT基盤整備への投資を強化

キャッシュアロケーション方針（第6次中期経営計画期間）

キャッシュイン

営業CF

約100～130億円

資産売却・資金調達
など

アロケーション（配分）

成長・注力分野に向けた投資

設備投資
既存補修
研究開発
DX推進

約70～90億円

詳細

- ・ 調査・分析機器、高性能PC（AUV、高精度カメラ等）
- ・ 拠点整備（修繕、移転・建替等を含む）
- ・ 技術開発（中長期的な市場の拡大・変化を見据えた重点分野）
- ・ IT基盤整備（基幹系システム、セキュリティ対策等）

株主還元

約30～40億円

- ・ 配当性向35～40%、総還元性向50%の水準を目標

その他

約10～15億円

- ・ 借入返済
- ・ M&Aなどは必要に応じて実施し、資金調達が必要な場合は柔軟に対応

4-4.成長戦略（5）：サステナビリティ戦略

- ◆ サステナビリティ経営を推進していくための、重点的な取り組みとしてガバナンス体制強化や脱炭素・資源循環への取り組みを推進

Governance : 企業統治

ガバナンス体制の強化とIR・SRの充実

〔ガバナンス体制強化〕

- 取締役会の機能充実
- BCP対応強化
- 品質管理の徹底
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた着実な対応
- 内部統制の強化

〔IR・SRの充実〕

- 情報開示の充実など、株価向上施策の拡充
- ステークホルダーとの対話・関係の強化

Environment : 環境

CO₂排出量削減や資源循環への取り組み

〔カーボンニュートラルに向けた取り組み〕

- CO₂排出量削減の目標設定
- 省エネ設備の導入・更新
- 社用車の低燃費車への置換推進
- 電力の再エネプランへの切り替え

〔資源循環への取り組み〕

- 業務書類等のペーパーレス化
- 社員のエシカルな活動の推進

ご清聴 ありがとうございます

～コーポレートスローガン～
人と地球の未来のために
For Our Bright Future

IRに関するお問い合わせ

いであ株式会社 経営企画本部 経営情報部
TEL:03-4544-7603 MAIL : idea-quay@ideacon.jp



質疑応答